



Title	スピリチュアリティ・ブームに潜む自己理解のリスク
Author(s)	櫻井, 義秀
Issue Date	2006
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/17106
Rights	日本脱カルト協会公開講演会「スピリチュアルなサブカルチャーとマスメディアのあいだ」、静岡県立大学、2006年11月11日
Type	lecture
File Information	shizuoka1.pdf



[Instructions for use](#)

スピリチュアリティ・ブームに潜む自己理解のリスク

北海道大学
櫻井義秀

発題の構成

- 1 現代のスピリチュアリティ
- 2 スピリチュアリティ・ブーム
 - 細木・江原のメディア登場
 - 占い・癒し
- 3 すぴこん
- 4 自分が分からない現代の自分探し
- 5 つながり・気づきのマーケティング化
- 6 マスメディアは、メディア足りうるか？

さまざまなスピリチュアリティ

- WHO 健康の定義にスピリチュアリティ
- 医療 死に向かう生をどう受容するか
- 教育 育ち いのちの大切さ
 - こころのノート 絆・自然の価値
- 心理療法・カウンセリング・コーチング
 - こたえはその人のなかから引き出される
- ポップな世界 「世界に一つだけの花」

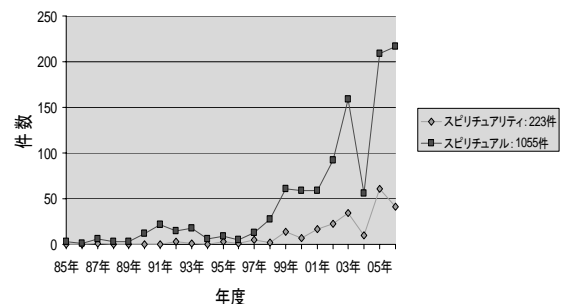
スピリチュアリティの変遷

- 古典的用法: 神秘主義・心霊主義
- 現代宗教の変化: 制度宗教→非制度宗教へ
 - ネットワーク型宗教: ニューエイジ・オカルト・陰謀論・チャネラー／ヒーラー
 - 拡散型宗教意識: 慰霊、自然葬
 - スピリチュアリティ: A.A.セラピー、いきがい
- 定義: ①当事者の体験重視、②不可視な存在との神秘的つながり、③気づきによる成長(伊藤雅之, 2005)

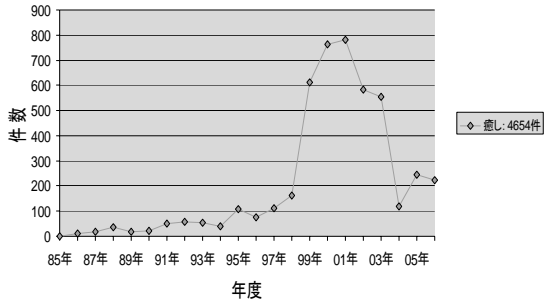
何が問題か

- 制度・社会に抑圧される「個」「ひと」の回復→発想・試みは了解可能
 - ① なぜ、現代にスピリチュアリズムが復興？
 - ② スピリチュアリティは個を解放しているか？
- サブカルチャーを吸収するメインカルチャー
 - ① スピリチュアリティを伝えるメディアは何か？
 - ② スピリチュアリティとすきま型産業の関係？
 - ③ サブカル化する社会をつなぐもの？

スピリチュアル・スピリチュアリティ



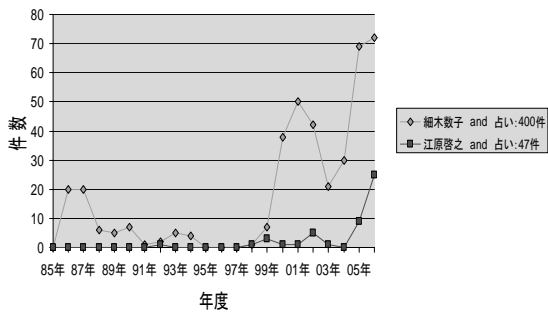
癒し



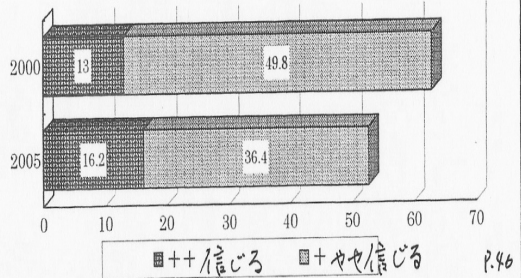
スピリチュアリティ・癒しの用例

- スピリチュアリティ
- 癒し(いやし)
- 1980年代 オカルト・ブーム
- 1980年代 字義通り
- 1997 「宗教と社会」学会・宗教学会
- 1995 オウム事件
- 1997 上田紀行 『癒しの時代をひらく』
- 2005 オーラの泉
- 2000年代 健康グッズ

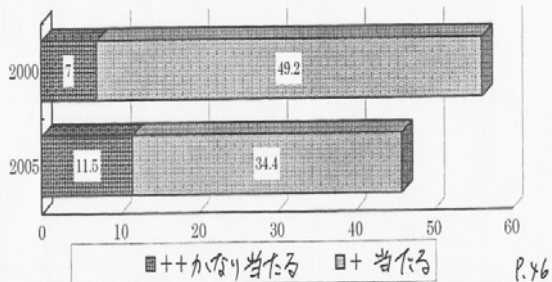
細木数子・占い／江原啓之・占い



グラフI-2v
血液型による性格判断(2000年と2005年)



グラフI-2u
姓名判断(2000年と2005年)



すぴこん

- スピリチュアル・コンベンション: スピリチュアリティを求める人達のネットワーク・運動 全国各地で開催
- 仕掛け人 テディ・エンジェル(小泉義仁)さん
- 運動家・支援者・信奉者の出会いの場
→ 独立・自営・事業化: スピリチュアリティ商品の販売・営業

出店 類型	東京	札幌
レイキ・霊気・波動	16	5
パワーストーン	15	4
タロット・カード	21	2
健康機器・食品	7	12
オーラ写真	7	6
アロマテラピー・カラーセラピー	8	8
整体・マッサージ	4	13
各種リーディング	30	12
各種ヒーリング	27	14
各種チャネリング	14	4
各種グッズ	21	13
各種占い	9	5
コーチング・カウンセリング	0	5
その他	5	3
計	184	107

• 出店の傾向

- 東京すぴこん
 - 2006/4/29
 - 平野直子調査

- 札幌すぴこん
 - 2006/7/15
 - 櫻井義秀調査

リーディングによる自己の構築

- オーラ、守護霊、過去生による自分の語り直し
 - ↓
- ポップ心理と機能的に等価
 - 生きにくさを表現
 - 自分のせいではない AC
 - しかし、自分次第で周囲が変わる セミナー系
- ↓
- スピリチュアルな物語
 - 自己をつなぐ
 - 自己責任から解放 水子
 - 自己決定の責任を課す 供養

- 占い・癒しの弊害
 - 因果論的誤解
 - 気休めから本気に
 - ↓
- 信奉者から指導者へ(消費者から起業家へ)
 - 教育・医療・心理療法への無資格参入
 - つながり/欲望の喚起

「可能性としての自分探し」から

- NHKの世論調査、1980年のなかば:「経済の豊かさ」→「心の豊かさ」を望む
 - 1985年、男女雇用機会均等法:女性が職業を通して社会的自己実現
 - 仕事は金を稼ぐ→自分らしさを表現するもの
- 1980-90 能力開発型宗教ブーム
 - 阿含宗 桐山靖雄 1985『超脳思考をめざせ』
 - オウム真理教 覚醒のステージ化
 - 自己啓発セミナー

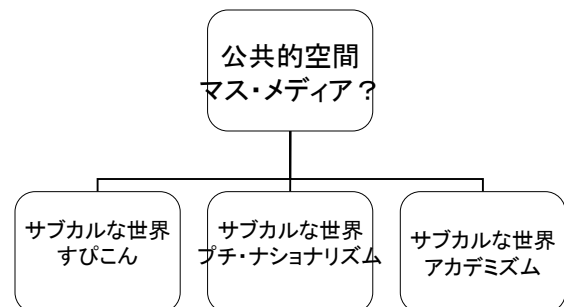
「不安と隣り合わせの自分探し」へ

- 2000年代 グローバル化/格差社会の時代
 - チャンスを掴む人/動けない人、価値相対化
 - 非正規雇用:正規雇用=1:2
 - なにものにもなれない不安/すべり落ちる不安
- 1990年代後半より セラピー社会の癒し・スピリチュアリティ 探求へ
 - 自己承認を得たい/カウンセラー志望

セラピー社会の閉塞

- 個人が苦しいのはその人のせいかな?
 - 社会問題の個人化/心理化:問題に耐える/気を紛らわせる →問題を解決するのはいつ?
- 自己は社会的に構築した方が強い
 - 「ほんとうのわたし」から「世間にある私へ」
 - 社会関係をつくる能力を社会化によりみがく

スピリチュアルなつながりより社会的結節



ご静聴ありがとうございました

